

北海道文教大学 後援会 No. 15

CONTENTS

後援会活動報告	1
理事長・学長挨拶	2
就職部便り	3
平成26年度決算及び平成27年度予算	4

平成27年9月1日(火)

発行責任者 中上 美伸
〒061-1449 北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1
発行係 北海道文教大学事務局学務部学生課内
北海道文教大学後援会 TEL0123-34-0011

平成二十七年 後援会活動・事業について

北海道文教大学後援会 会長 中上 美伸



はじめに

会員のみならずにおかれましては、日頃より北海道文教大学後援会の活動・事業に對しまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本学後援会は、北海道文教大学の精神に則り、会員相互の協力によって大学を後援し、皆様からお預かりしている会費により、(一)学生生活上のための支援(二)活動団体や行事等、課外活動に對する援助(三)活動団体や行事等、課外活動に對する援助(四)大学祭や父母懇談会への開催の協力(五)学位記授与式での記念品贈呈や卒業祝賀会の実施協力などを実施して、近年では、図書館や学生食堂・サークル会館等への環境整備や学友会倉庫の設置などを教職員や学生代表と協議しながら実施、さらに本年度は、新入生が、一日も早く大学生活に慣れることを目的とした「フレッシュマンキャンプ」(新入生宿泊研修)実施助成、また、学生が朝食を摂る習慣を身につける目的で始まった「〇〇朝朝食」実施助成を新規事業として展開しております。後援会といいたしましては、この会報を通して、皆様に後援会の活動内容に理解を深め、より関心を持って頂けるよう上半期の主な事業についてご報告させて頂きます。

上半期の主な事業

(一)平成二十七年北海道文教大学定期総会

平成二十四年度から入学式後に大学主催の学科説明会が行われ、定期総会の開催はその終了後となっており、参加者は三十五名

一日 時 平成二十七年四月四日(土) 十三時三十分

二 会 場 北海道文教大学 本館二階 大講堂

三 出席者 会員二十五人、後援会役員一〇人、教職員理事六人、委任状一六一人

四 議 事 (一)平成二十六年事業報告について

(二)平成二十六年決算について (三)平成二十七年事業等計画案について (四)平成二十七年予算案について (五)平成二十七年役員案について

五 決定事項 原案通り承認

(二)平成二十七年北海道文教大学後援会 第一回役員会

鈴木学長にもご出席頂き、北海道文教大学の現状や今後の大学経営の方針等をお聞きしました。

一日 時 平成二十七年六月四日(木) 十八時三十分

二 会 場 札幌グランドホテル

三 出席者 二十一人、後援会理事十四人、教職員理事等七人、

四 議 事 (一)平成二十七年役員選出について

(二)今後の日程等について (三)その他 ①フレッシュマンキャンプの実施状況について ②〇〇円

朝食の実施について ③サイクリングスタンドの設

置について

五 決定・確認事項 (一)四人の新任理事、三人の理事をワーキンググループメンバーとして追認 (二)本年度学位記授与式は平成二十八年三月二十一日(祝月)に確定 (三)その他 ①平成二十七年四月十一日(土)より十二日(日)にフレッシュマンキャンプを実施。新入生参加五五人(欠席四人)、在学生サポート一六二人、教職員が参加、事故なく終了と報告。②〇〇朝朝食が今年度は五月十八日より開始された。報告、初日より三日間は特別メニューを提供。毎日一五〇食を準備しているが、月曜日の食数が伸びない傾向がある。一部洋食メニューの実施など、魅力的なメニューの検討を継続。③七号館前駐輪場にサイクリングスタンド設置の報告。

(二)平成二十七年北海道文教大学キャンパスウォッチング

キャンパスウォッチングとは、学内における学生の様子や各施設を実際に見学、また、大学教職員等から説明を受け、知ることで、各施設の利便性や問題点等について共通認識を持ち、事業計画に反映させるために実施。

一日 時 平成二十七年七月十六日(木) 十二時

二 会 場 北海道文教大学恵庭キャンパス 会議室

三 出席者 後援会理事十二人、大学事務局四人

四 内 容

一 大学の現状報告と将来構想について橋内副学長から説明

(一)平成二十七年三月卒業生の就職状況と国家試験合格状況

読売新聞社「就職に強い大学二〇一五」(就職者数三〇〇人以上の国公私立大学)において二〇一四年実績就職率ランキング 道内私立大学の中で第一位、全国国公私立大学において第三三位。就職率(全学科平均)九九・四％となっており、きめ細やかなキャリア支援・キャリア教育が開学以来の高い就職率に反映している。(三頁下段・就職実績データ表を参照)

国家試験合格率 管理栄養士・八五・四％(全国平均合格率五五・七％、道内養成学校一位、全国養成学校九位)(看護師・九六・八％(全国平均合格率八二・七％、理学療法士・九八・八％(全国平均合格率九〇・〇％)、理学療法士・九八・八％(全国平均合格率八二・七％、道内養成四年制大学中第一位、全国養成四年制合格者率七五・五％、道内養成四年制大学中第一位、全国養成四年制大学中第四位)となっており全国レベルを大きく超えている。(四頁下段・国家試験合格者数表を参照)

(二)鶴岡記念講堂の建設について

学園創立七十五周年記念事業としてかねてより計画をしていた「鶴岡記念講堂」の建設を平成二十七年七月一日に着工、平成二十八年十一月竣工を目指す

建設がはじまった。

(三)学生会館玄関前の改修
学生の広場として活用できるよう、玄関前の樹木及び芝生を撤去した。

(四)七十五周年記念事業計画

鶴岡学園が平成二十九年に七十五周年記念を迎えるにあたり、鶴岡記念講堂建設趣旨を理解して頂き、講堂建設事業の遂行にあたりその建設費用の一部を広く募金を仰ぐ計画としている。

(五)テニスコート整備計画

恵庭キャンパステニスコート二面を老朽化のため補修予定。

(六)国際言語学科の改編計画

英米語コース、観光・ビジネスコースの二つのコースを用意、新しいカリキュラムに再編予定。

二 キャンパスウォッチング

以下の施設を見学した。(一)六号館九階 茶室、和室 (二)鶴岡記念講堂建設地 (三)一号館(一階)就職資料閲覧室・キャリア相談コーナー (四)図書館 (五)学生食堂 (六)二号館(二階)一、二、GCC、CLL室 (七)三号館(一階)機能訓練実習室 (八)テニスコート、新学友会倉庫 (九)サークル会館 (十)サイクリングスタンド (十一)七号館(ペンギンルーム・ピア練習室、ML室) (十二)五号館二階(基礎看護学実習室、成人・老年看護実習室) (十三)八号館(ロビー)等

キャンパスウォッチング後の報告会では、「どの学生もしっかりと挨拶ができることは素晴らしい。」

「充実した設備の中で過ごしている学生の様子が理解できた。」大学教職員からの丁寧な説明があり、設備面だけではなく大学教育の実践部分に触れられたのが良かった。」などの感想があった。

三 テニスコート備品助成について

大学側より老朽化したテニスコート整備事業に合わせて、テニスコート物品(防風ネット等)の助成について要請があり検討。実際に現状を確認して上で必要性を認め、予備費の中から助成する方針とした。

おわりに

北海道文教大学学訓「清く、正しく、雄々しく進め」に基づいて、平成十七年に建学の基本理念を再確認し、新世紀への実践の創成、伝承の拠点として発展するため「未来を拓くチャレンジ精神」「科学的研究に基づく実学の追求」「充実した教養教育の確立」「国際性の涵養」「地域との連携」の五つの独自性を持った教育理念と目的として定められております。この建学精神を強く意識し、追求するといふ実践が社会からの理解・共感を得て、現在の魅力あふれる北海道文教大学へと繋がっているのではないのでしょうか。学生一人ひとりが自分の「なすべきこと」を自覚できるよう、入学からきめ細やかなサポートにより国試合格率や就職率で実績を上げております。これからも後援会は大学と学生・会員の皆様と結び、北海道文教大学の充実・発展に期したいと存じますので、なお一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

理事長・学長挨拶

決してとどまることのない前進を

学校法人鶴岡学園 理事長
北海道文教大学 学長

鈴木 武夫



女子サッカーのワールドカップカナダ大会のニュースにふれながら、四年前の大会のことをどうしても思い出してしまいました。あの優勝が、東日本大震災で打ちひしがれていたこの国の人々にどんなに大きな喜びと勇気をもたらしてくれたことかということをも。

もう一度四年前の再現がないものかと期待しましたが、準優勝という結果であったことにつきましても、その健闘を素直に讃えたいと思うところであります。平成二十七年前期の本学にあっても学生諸君も教職員の皆さんも着々と健闘を積み重ねてくれております。

新しく企画実施されました年度当初の新入生宿泊研修も、何につけても新しいことに挑戦することは思わぬ困難がつきまとうところを、上級生ボランティアの協力と教職員の団結で、成功裏に充実した研修ができたとの総括が教授会に報告されております。平成二十七年五月二日現在集計の卒業生の就職率は、道内私立大学で第一位の実績を残してくれました。

また、後援会の皆様の多大なご支援と本学との協力による学生食堂の「百円朝食」も好評のうちに取り組みが進められています。学生の中には「遠距離通学なので、毎朝早く起きて支度してくれるお母さんを、

この期間だけは休ませてあげられる」という親しい理由で利用している人もいると聞き及んでおります。六月中旬には、文部科学省による「教職課程認定大学実地視察調査」がありました。結果的にはいくつかの改善点の指摘はありましたが、概ねよく取り組まれているとの評価をいただきました。

七月一日からは、かねて計画しておりました「鶴岡記念講堂及び多目的教室棟」の建設に着工いたしました。平成二十八年十一月の竣工を目指して、関連の環境整備もいち早く進められております。

また夏季休業中には、年初に学生諸君にも約束しておりました「快適なトイレ」への改装も実施いたしました。これは、政府の「女性活躍加速のための方針」にも盛り込まれた重点課題のひとつでもあります。

このように本年度前期の大学運営におきましても、「日日新(にちにちあらた)」の精神を大切にして、不断の改革改善の姿勢で進む毎日であります。学生諸君の教育研究環境を整備することは、まずもって運営担当者の重要責務であります。

学生の可能性を最大限に広げることを第一義に据えて、保護者の皆様とともに手を携えて進むことが大学発展の道であることを明確にして、皆様の二層のご理解とご支援をお願いする次第であります。

平成27年度 北海道文教大学後援会 役員名簿

役職	WG	氏名	学科等
名誉会長		鈴木 武夫	理事長・学長
副会長		中上 美伸	作業療法
会長	WG	大原 奈津子	看護
副会長	WG	北林 啓	理学療法
副会長	WG	砂金 和英	こども発達
監査 WG		串間 栄子	理学療法
監査 WG		高 七重	国際言語
理事 WG		佐藤 由美	国際言語
理事 WG		石井 和彦	国際言語
理事		竹市 直子	健康栄養
理事		森 千鶴	健康栄養
理事		片岡 結花	健康栄養
理事 WG		飯島 則勝	理学療法
理事		田伏 一志	作業療法
理事 WG		渋谷 博子	作業療法
理事		豊田 雄二	看護
理事		小笠原 円	看護
理事		中村 仁	こども発達
理事		中村 万里子	こども発達
理事		橘内 勇	副学長・人間科学部長
理事		澤田 隆	外国語学部長
幹事		浅見 晴江	事務局長・財務部長
幹事		荻根 澤則	事務局次長・学務部長
幹事 WG		細井 雅人	学務部次長

就職部便り

二〇一五年三月卒業生の就職結果と二〇一六年三月卒業生の就職活動状況について
北海道文教大学 就職部

国内の今年三月卒業生の就職決定率は、景況感改善の影響を受けて正社員の不足感が強まったことを反映し、企業の採用姿勢が大手から中小企業まで前向きな状況となり、九六・七％でした。(三月三十一日現在)

北海道内を卒業した大学生の就職率は、前年比二・五ポイント増の九一・六％となり、四年連続で前年を上回る結果となりました。就職者数は一万一、七八四人(うち道外は四二、七〇人)となったようです。(道労働局調べ)

本学の今年三月卒業生の就職状況は、下段に載せているとおり九九・四％となっています。一人ひとりの学生に対し、迅速且つきめ細かな対応と、個人毎の就活レベルの向上を実施した事が、高い就職率を達成した要因と分析しています。

二〇一六年三月卒業生の就職活動は、「十二月二日広報活動開始」であった昨年度と異なり、政府要請等により採用スケジュールが変更されたため、「採用選考期間の短縮」「応募企業先が集中によりパッシング」「学業と就職活動との重複」などが懸念されます。就職部としても、就職活動のスケジュール過密化への対応策を練る必要があります。

次に、現四年生の就職取り組み状況について、学科ごとにお知らせします。

【国際言語学科】三月二日の会社説明会解禁から二斉に就職活動が始まりました。三年生時のインターンシップ参加者、解禁時からの合同企業説明会参加者を中心に内々定を確保しています。具体的には卸売業・ホテル・IT・ドラッグストア・旅行会社・教育&学習支援業など、広範囲になっています。今後は企業単独の学内説明会開催、内定獲得セミナー後のフォロー、合同企業説明会参加への就職支援を実施します。また、八月一日からは新卒応援ハローワーク求人解禁となり、北海道内中小企業の求人数が予想され、学生が求める企業動向、情報提供に依っていきます。

【健康栄養学科】企業採用広報が短縮され、より短期間の就職活動を求められています。六月臨地実習もある中、インターンシップ・合同企業説明会に積極的に参加し、企業情報収集と自己分析に多くの学生が集中して取り組み、これまで食品製造販売・ドラッグストアなど小売業を中心に、内々定の確保に繋がっています。今後、地方公務員、医療・福祉関連の

栄養士・管理栄養士専門職をはじめ給食委託企業、食品関連企業の求人数も予想され、一層の支援強化を図ります。

【理学療法学科・作業療法学科】今年度も二学科合同の就職講座を三月二十四日・二十五日の二日間に亘って実施しました。また、恒例となった「学内就職説明会」も八月二十八日に実施しました。同説明会には道外からの参加を含め、年々参加施設が増加しており、この学内説明会から、実質的な就職活動がスタートすることとなりました。

【看護学科】新四年生の就職講座は、三月十二日と四月十六日の二回に分けて実施しました。今年度は就職活動のスタートに際し、学生の職業観を高めるために卒業生による講話を取り入れました。各病院の選考試験が早まる傾向にあり、例年よりインターンシップ参加者が増えるなど、積極的な就職活動が行われています。

【こども発達学科】幼稚園・小学校教育実習終了後の六月から内々定の確保が始まり、民間企業他に、実習先からの専門職採用が続き、例年より早い滑り出しとなりました。また、採用活動の動きとしては、道外(横浜市教育局委員会)から初めて教員採用学内説明会の開催など、早めの傾向を示しています。こども発達学科は、学科内独自に専門・教養両科目目の対策講座を実施しています。九月以降は民間・公務員問わず、さまざまな進路先に対する支援活動を強化していきます。

例年よりも大幅に「後ろ倒し」の日程となった今年の就職活動は、経団連のルール変更で、「企業の広報活動が三月一日から」「面接などの広報活動が八月一日から」に繰り下げられました。例年なら四月下旬から五月にかけて内々定が出る最初のピークを迎える時期ですが、今年は全般的に動きが遅くなっています。

また、学生の就職活動は、「二極化の傾向があります。二月から動いている学生がある一方、「八月まで大丈夫と動かない学生もいます。対策としては、学生一人ひとりの動向をアドバイザー教員と協力して掴み、定期的に学生との連絡体制を取っています。加えて今年懸念される事は、企業による内定者の囲い込みの増加が予想されます。困ったときに二人で悩むのではなく、いつでも相談できる雰囲気を作る体制を維持しています。

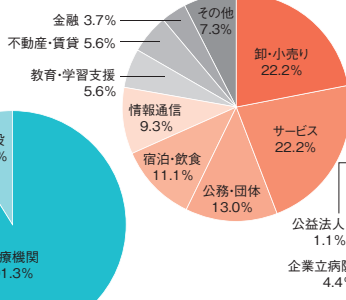
就職部としては、今年には特に迅速な就職支援が求められています。後半は選考期間が短縮され、短期間に終了することが予想されます。そのため、すぐに応募できる準備態勢を整えると同時に、常に学生とのコンタクトを意識して就職支援をしていく所存です。

2015年 就職実績データ

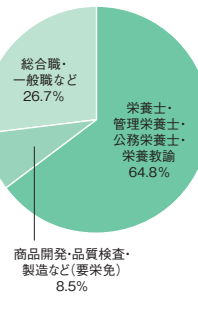
2014年度 就職率 (全学科平均) 99.4%

道内私大 1位

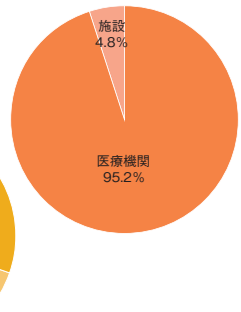
外国語学部 国際言語学科 96.4%



人間科学部 健康栄養学科 99.3%



人間科学部 理学療法学科 100%



人間科学部 作業療法学科 100%

人間科学部 看護学科 100%

人間科学部 こども発達学科 100%

北海道文教大学後援会 平成26年度決算及び平成27年度予算

■収入の部

(単位 円)

平成26年度決算		平成27年度予算		
科目	決算額(A)	科目	予算	備考
1 繰越金	11,031,466	1 繰越金	15,623,138	
2 会費収入	38,791,500	2 会費収入	38,280,000	16,500円×2,320人
3 雑収入	6,720	3 雑収入	3,000	預金利息
合計	49,829,686	合計	53,906,138	

■支出の部

(単位 円)

平成26年度決算		平成27年度予算		
科目	決算額(B)	科目	予算	備考
1 事務費	288,452	1 事務費	500,000	
(1) 通信費等	288,452	(1) 通信費等	500,000	総会・役員会等案内状郵送
2 会議費	1,428,099	2 会議費	1,600,000	
(1) 総会	560,136	(1) 総会	600,000	総会費用、入学紅白饅頭
(2) 役員会費	867,963	(2) 役員会費	1,000,000	役員会・交通費
3 事業費	29,194,077	3 事業費	31,450,000	
(1) 学生文化・体育団体助成費	7,909,458	(1) 学生文化・体育団体助成費	7,500,000	サークル助成
(2) 「後援会文庫」整備費	3,206,919			
(3) 父母懇談会助成費	619,000	(2) 父母懇談会助成費	1,000,000	食券等の助成
(4) 卒業記念助成費	3,633,066	(3) 卒業記念助成費	3,650,000	卒業記念品・紅白饅頭
(5) 「卒業祝賀会」費	4,456,730	(4) 「卒業祝賀会」費	4,500,000	卒業祝賀会の助成
(6) 就職活動助成費	4,609,427	(5) 就職活動助成費	2,000,000	就職講座等の助成
(7) 広報費	426,060	(6) 広報費	800,000	会報年2回発行
(8) 慶弔費	50,000	(7) 慶弔費	100,000	香典
(9) 学生指導助成費	4,283,417			
		(8) 免許等取得助成費	3,540,000	1,500円×2,360人(学生数)
		(9) 宿泊研修助成費	4,200,000	新入生合宿研修の助成
		(10) 100円朝食助成費	3,000,000	年間100日間の実施
		(11) 携帯電話充電器助成費	160,000	充電器レンタル料の助成
		(12) サイクルスタンド設置助成費	1,000,000	駐輪場に自転車スタンドを設置
4 記念事業等積立費	2,000,000	4 記念事業等積立費	2,000,000	75周年記念事業等の積立
5 予備費	1,295,920	5 予備費	18,356,138	(設備・備品等の助成を含む)
合計	34,206,548	合計	53,906,138	

平成27年度 北海道文教大学後援会事業等実施計画

平成27年 4月 4日(土)	定期総会(入学式終了後)	平成27年10月上旬	100円朝食助成
平成27年 4月11日(土)・12日(日)	新入生宿泊研修助成	平成27年10月30日(金)18:30	第2回ワーキンググループ
平成27年 4月25日(土)17:00	第1回ワーキンググループ	平成27年11月13日(金)18:30	第2回役員会
平成27年 5月18日(月)~7月29日(水)	100円朝食助成	平成28年 2月19日(金)18:30	第3回ワーキンググループ
平成27年 6月 4日(木)18:30	第1回役員会	平成28年 3月21日(祝月)	平成27年度学位記授与式記念品助成
平成27年 7月16日(木)12:00	キャンパスウォッチング	平成28年 3月21日(祝月)	平成27年度卒業祝賀会及び同窓会入会式
平成27年10月 9日(金)~11日(日)	大学祭(3日間)の助成	平成28年 3月下旬	監査
平成27年10月11日(日)	父母懇談会(恵庭キャンパス)助成	平成28年 3月25日(金)18:30	第3回役員会
平成27年10月中旬	中間監査		

後援会による国家試験等の助成

平成27年3月卒業生は、国家試験合格率においても右表のとおり高い実績を残しました。

後援会は、学生に対する国家試験等の助成として、これまでの各学科で必要な本を購入する「後援会文庫助成費」を組み換え、今年度から国家試験免許取得をはじめ教員試験等の各種資格を取得するために必要な図書・問題集の購入、講演会の実施などを助成する「免許等取得助成費」を、事業として始めました。

また、「就職活動助成費」の中で、TOEIC・英検受験等の就職につながる各種資格を取得するための各種受験料の助成を「資格取得奨励金」として、これまでどおり行っています。

平成26年度国家試験合格者数・合格率

国家試験	受験者数	合格者数	合格率
管理栄養士	144	123	85.4
理学療法士	86	85	98.8
作業療法士	48	44	91.7
看護師	94	91	96.8